

緑鯨城会便り

第76号 (趣味の作品展特集)

ふれあい

令和元年12月



踊り子

二十九期 文化B

水谷 敏夫



発行 | 名古屋市高年大学鯨城会 緑鯨城会

編集 | 緑 鯨 城 会 広報委員会



目 次



表紙 … 「踊り子」	1
目次・表紙作品のコメント	2
第24回作品展の概要・会長挨拶（30周年記念事業と作品展）	3
絵画部門 「水彩・水墨・パステル」	4
絵画部門 「水彩・水墨・パステル」	5
絵画部門 「水彩・水墨・パステル」	6
工芸作品・パソコン作品・鉢物・盆栽	7
絵手紙部門 ・ 写真部門	8
短歌・俳句部門 書道部門	9
絞り染め部門・部門出展責任者の感想&総括（絵画・工芸・書道）	10
部門出展責任者の感想&総括（パソコン・絵手紙・写真・俳句・短歌）	11
部門出展責任者の感想&総括（絞り染め・鉢物、盆栽・実行委員長総括）	12
緑区区民まつり「生涯現役コーナー プラバン作成」	13
自由投稿「財布のひとり言」	13
自由投稿「総会アトラクションの変貌」・「短歌・俳句」	14
運営委員会だより（6月～10月協議事項・報告事項）	15
ウォーキング同好会活動報告と予定	16
30周年記念特集号への投稿募集（30周年記念実行委員会）	16
編集後記	16



第76号表紙 「踊り子」

水谷 敏夫（29期文化B）

この絵は、色々な瞬間を捕らえた写真の中から選びました。

女性（踊り子）の躍動感を、表現することが出来たらと思い、描いていきましたが、F10での大きさで、顔を可愛く描く事が大変難しく、苦勞をしました。

表紙：「令和元年・第24回趣味の作品展」、出展作品より選出掲載致しました

（広報委員会）

第24回 令和元年

緑区民まつり協賛事業

趣味の作品展

絵画 陶芸 絵手紙 写真 短歌 俳句 川柳

パソコン作品 工芸 絞り 書道 鍾物 盆栽 甲冑

出品者 緑鯨城会会員・緑区在住60歳以上の方

日時 10月26日(土) ~ 27日(日)

場所 緑区役所2階講堂 駐車場混雑のため、公共交通機関でお越し下さい
午前10時 ~ 午後4時30分 午前10時 ~ 午後3時まで

令和元年 趣味の作品展概要

1. 作品出展数

緑鯨城会会員出展数 120点

作品展の総出展数 242点

2. 出展者人数

緑鯨城会会員出展者 65名

作品展の総出展者数 150名

3. 作品展来場者人数

10月26日(土) 223名

10月27日(日) 227名

総来場者数 450名

30周年記念 「絞りトーク」・「花苗・陶芸作品プレゼント」

参加者人数

26日15名・27日20名

花苗プレゼント 200鉢

チュウリップ球根 60個

作品プレゼント 30点

(2日間合計)

30周年記念事業と趣味の作品展

会長 30期 近藤比呂史



ここに緑鯨城会創立30周年を迎えることができましたのは、諸先輩を始め会員の皆様の弛まぬ努力のお陰と厚く感謝申し上げます。

さて、今年度は記念事業としての趣味の作品展と来年4月の式典・アトラクションを用意させて頂きました。趣味の作品展では緑区の特徴を生かした展示・演出と同好会を通じての会員相互の交流を狙いとししました。又来年4月の式典・アトラクションでは多くの会員を主に会場を大いに盛り上げ、記憶に残る感動を会員の皆様に味わって頂きたいと願っております。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

部門《絵画》 水彩・水墨・パステル



夏の午後のエーゲ海
25期 市川容子



イギリスの庭園
25期 市川容子



夜の静寂
25期 近藤仙治



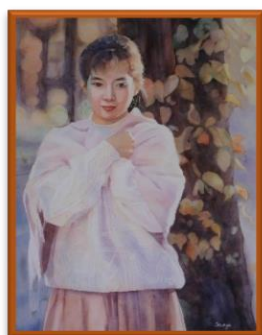
夜のしまなみ海道
25期 近藤仙治



赤い観光電車
21期 寺澤章博



この木なんの木？…
21期 寺澤章博



初冬
22期 渋谷敬子



セイカーハヤブサ
22期 渋谷敬子



倉敷Ⅰ
25期 池田浩三



倉敷Ⅱ
25期 池田浩三



軍艦島Ⅱ
25期 大蔵陸郎



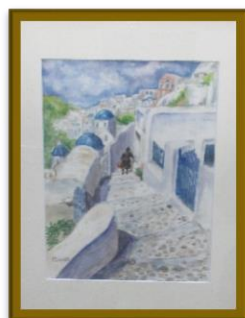
軍艦島Ⅲ
25期 大蔵陸郎



作品A
25期 小田島五郎



晩秋
25期 小田島五郎



白い街
32期 北山みね子



ロニアット、アエック…
32期 北山みね子

部門《絵画》 水彩・水墨・パステル



鯉 を 見 に
30期 樋野節子



優 し い 日 ざ し
30期 樋野節子



早 乙 女
31期 高野孝



飛 越
31期 高野孝



秋
29期 森山千恵子



思 い 出
29期 森山千恵子



街 中 の オ ア シ ス
27期 前田勝美



踊 り 子
29期 水谷敏夫



露 店
27期 中島輝夫



サ ー フ ァ ー
25期 吉川圓一



上高地に見る北アルプス
25期 楠元和博



妻 籠 宿
25期 伊藤敏子



静 か な 出 漁
30期 松山泰雄



微 笑 み の 仏
19期 土井徳郎



雪 景 色
21期 柏原秀一



か た つ む り
31期 右高茂夫

部門《絵画》 水彩・水墨・パステル



やすらぎ
22期 市川 滋



清々
22期 市川 滋



南瓜
31期 須藤 進



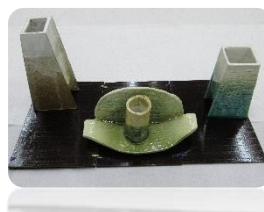
部門《陶芸》《工芸》《パソコン》



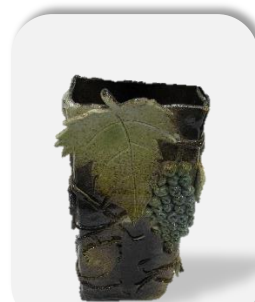
高杯
23期 小玉正氣



花瓶
23期 小玉正氣



花瓶
21期 柏原秀一



花瓶
22期 市川 滋



ランプシェード
22期 市川 滋



皿
29期 富永真知子



額絵（ステンドグラス）
28期 阿部 花井



額絵（ステンドグラス）
28期 阿部 花井

部門 《工芸》



つるし飾り
29期 遠藤ハツエ



木彫り（ヒナたち）
32期 北山みね子



手造りバッグ
30期 阪 文子



手造りバッグ
30期 阪 文子



青空と白い雲
27期 磯部 勝



孫の成長
26期 山本捷一



彩
29期 森山千恵子



ひまわり
31期 奥野幸泰



トマトとグラス
31期 奥野幸泰



パリの街角
29期 伊藤吉雄



カソリック主税町教会
29期 伊藤吉雄



盆 栽
31期 須藤 進



盆 栽
31期 須藤 進



盆 栽
31期 須藤 進

部門 《絵手紙》 《写真》 《短歌・俳句》



無 題
3 0 期 阪 文 子



無 題
3 0 期 阪 文 子



無 題
3 1 期 河 村 興 彌



濃 溝 の 滝
1 6 期 山 森 正 蔵



布 袋 葵
2 2 期 鈴 木 順 子



上田城跡公園のサクラ
1 6 期 山 森 正 蔵



海 の 妖 精
2 4 期 伊 藤 文 雄



秋 日 和
2 7 期 小 澤 順 子



さ ん ぼ
2 6 期 伊 藤 靖 子



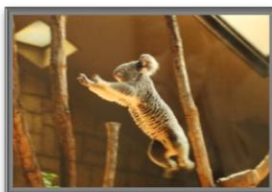
ガーデンズ・バイ・ザベイ
2 6 期 伊 藤 靖 子



空 き 室 あ り ☒
2 9 期 本 多 和 彦



刻 む
2 9 期 本 多 和 彦



あ ! 飛 ん だ
3 0 期 福 田 聖 太 郎



気 合 だ ! 気 合 だ !
3 0 期 福 田 聖 太 郎

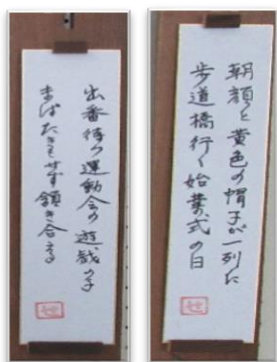


春 の 訪 れ
3 0 期 渋谷 稔

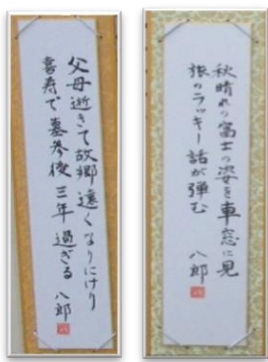


春 爛 漫
3 0 期 渋谷 稔

部門 《短歌・俳句》・《書道》



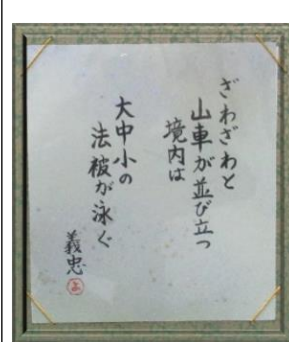
短 歌
28期 鹿島節子



短 歌
29期 熊田八郎



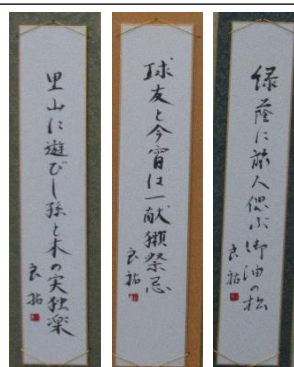
短 歌
30期 坂神 誠



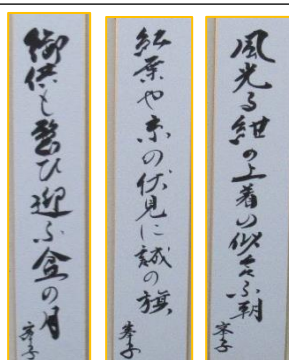
短 歌
32期 廣瀬義忠



短 歌
32期 廣瀬義忠



俳 句
29期 馬場良祐



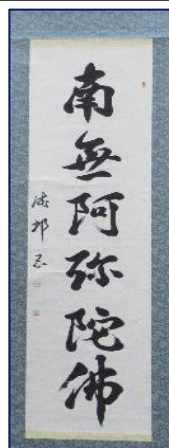
俳 句
30期 倉知峯子



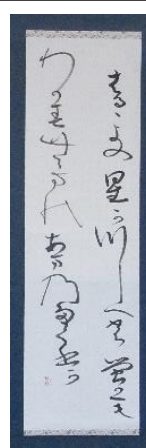
俳 句
30期 坂神 誠



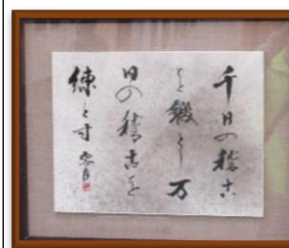
俳 句
31期 山田正明



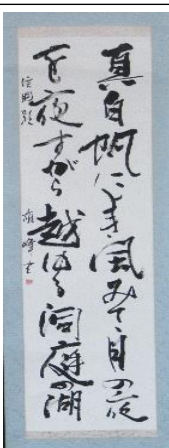
南無阿弥陀仏
十九期 土井 徳郎



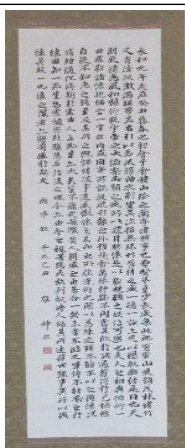
在原業平のうた
二十三期 辻 正子



五輪の書より
27期 大塚祥子



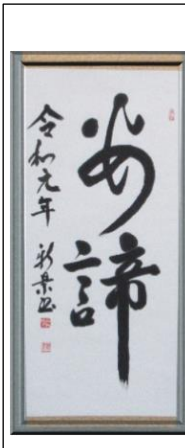
佐々木信綱の歌
二十四期 伊藤文雄



王義之の蘭亭叙
二十四期 伊藤文雄



作善降之百祥
三十期 森 順子



安 三十期 森 順子 諦

部門 絞り染め

橋本 幸子 (25期)
伊藤 敏子 (25期)
芝山 圭子 (26期)
竹内 和枝 (26期)
池内 ふく美 (28期)
大矢 三智子 (30期)



「第24回趣味の作品展」

感想 & 総括

部門出展責任者

「絵画」部門



松山 泰雄 (30期)

今回の出展数は44点で、内訳は水彩画34点、水墨・日本画・軸8点、パステル画が2点で前年より多少の減少でしたが、19期から32期まで凡そに亘って出して頂きました。また、区内の方にも滝ノ水をはじめ鳴子、桃山、徳重、桃山の皆さんにも出品して頂き誠に有難うございました。準備の日は多少の雨がありましたが、開催の二日間はとても良い天候となり、大勢の観覧者が絵画に足を運んで頂き、それぞれの絵をじっくり見て回る光景が見られました。

特に100号の大作「初冬」の女性像に足を止め、見入る人の多さは誰でも認める事と思います。画を背景にして写真を撮る人もたびたび見られ、これらのことで、多くの観覧者が次の作品展への出展意欲を掻き立てられたことでしょう。

「工芸作品」部門

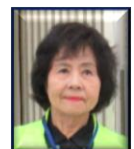


山下 富和 (31期)

工芸担当になり、受付開始日から電話：メール：FAXの無い日が続き不安になりました。

実行委員長から「前年提出した人に電話をしたら」との助言を受け、早速電話をしたら「大丈夫。出しますよ」との返事をもらいホットしました。会場にはパネル：テーブルに昨年とほぼ同じ数の作品が展示されました。盛況に作品展が終わり撤収時「来年も出展します」と、嬉しい言葉を頂き感謝です。第25回「趣味の作品展」はもう始まっているような気がしました。

「書道」部門



阪 文子 (30期)

折重なる台風はそれでしたが、設営搬入日は車の乗り降りに、躊躇するような大雨でした。悪天候のなか大変でしたが、作品ごとに時差をつける搬入によって、上手くできました。2度目の書道責任者となり、絆ができた書道家の皆様の素晴らしい作品を、展示させて頂きますと、会場が落ち着いた雰囲気になりました。年々、気力体力が落ちていくなかで、出展することが脳の活性化になりますので、是非とも又の出展を宜しくお願いします。これからも皆様と共に楽しめる作品展が長く続きますように…。

「パソコン作品」部門



右高 茂夫（31期）

役割分担表で、「パソコン作品」出展責任者欄に、私の名前が記載されていた。
昨年の実績から、応募者が10名以内なら、何とか出来るだろうと引き受けた。
結果として、5名7点であった。申込票FAXの字がかすれ、読みづらく、問い合わせした位で、搬入の際にもトラブルはなく、スムーズに行えた。
搬出の時、出展のお礼と、来年の出展依頼を行なったところ、「パソコンにより絵を書くことは、筆模様、線模様等があり筆による絵は難しい。また細かい作業のため、目が疲れ根気がいります。元気な内は出展します」との返事をいただき、私自身が元気をもらいました。
私は水墨画を始めて数年たっています。作品展に出すような絵ではありませんが、出展数を一点でも多くしたくて出展しました。

「絵手紙」部門



福田 聖太郎（30期）

初めての絵手紙部門の取り纏めでしたが、3人の先生（古田・林・糸）の元気なリーダーシップにより、25名の方が出展、更に今年は7パネルを使い、例年よりも余裕をもって展示できました。来場の方も指をさし乍ら会話をする様子が見られました。
来年の出展を確認したところ、先生からは、皆さんがこの作品展を、1年の集大成の展示会として、楽しみにされているとの事。来年も期待大ですね。

「写真作品」部門



渋谷 稔（30期）

24回目の作品展も盛況のうちに無事終わることができ、ホッとひと息ついております。
私は「緑区の桜」をテーマに作品をまとめてみました。4月初旬に3度ほど熊野社・扇川遊歩道を自転車で廻り2点を作品にしました。
桜と言えば「名古屋城」「山崎川」と思っていたのですが、地元の緑区にも桜の名所があることに驚きました。
同時開催の「区民祭り・生涯現役コーナー」も大高緑地で実施されましたが、余裕をみて準備した材料が、品切れになる程の大盛況でした。協力して頂いた皆様にお礼申し上げます。

「俳句・短歌作品」部門



山田 正明（31期）

今回は短冊による言葉の表現だけでなく色紙、写真、葉書による挿絵、写真の視覚的効果のある作品が見る人を惹き付けていました。俳句、短歌は言葉の芸術であり、言葉に魅せられる喜びがあります。一語一字に季節感や言葉の醸し出す質量感が必要でそのためには言葉を覚え、物を見る目を養う、簡潔に表現する必要があります。しかし言葉、書体等に加えて挿絵、写真等があれば見学者はもっと容易に視覚的に楽しめる点が多くなります。今後はさらに多様な出展の工夫も必要と感じました。

「絞り染め」部門



橋本 幸子（25期）

デモンストレーションに、大勢参加をくださりありがとうございました。

作品も沢山出品していただき、賑やかに飾ることが出来ました。

針を持たずに出来る絞りも沢山の種類があります。縫うのが苦手な方も一度体験してみませんか？

毎月第一木曜日、午後一時～三時に瀬戸信用金庫鳴海支店3Fにて練習しています。

皆さんのお越しを待っています。

「鉢物・盆栽」部門



須藤 進（31期）

高年大学2年次で小菊の盆栽を作り、「名古屋城菊の会」作品展に出展し、学生の部で優秀賞を受賞しました。以降現在も小菊盆栽を楽しんでいます。

小菊（山菊）は他の菊と比較すると、性質は極めて繊細で葉形や花も小さく、枝や蕾が密生するため、盆栽に適しています。しかし、枝葉は思うように出ません。

樹形を作るには、アルミ線を幹や枝に巻き付けて成型します。

良い場所に枝が出来、思いを巡らしてこれにアルミ線を巻き成型するのですが、枝を折ってしまう。

今年も枝を折りながらも小菊盆栽を作りました。

第24回作品展の総括



実行委員長 高野 孝（31期）

令和元年の「趣味の作品展」は、10/26（土）、10/27（日）2日間開催いたしました。幸い両日とも、好天に恵まれ、主催者側にとって、この上ない日となりました。本年は、緑鯉城会創立30周年の節目の作品展と位置付けし、絞り染め出展作品のトークコーナーの開設、緑鯉城会16グループの同好会活動ポスター掲示、及び園芸学科、陶芸学科会員の皆様のご厚意による花の苗、陶芸作品のプレゼントコーナーの設置等、来場者にとって、楽しい企画を提供できたと思っています。一方、会員の出展者、出展数の減少等、緑鯉城会会員の減少傾向が、影を落とした作品展となったと思われますが、関係者各位のご協力、ご支援により、一定の成果を収める事が出来たのではないかと自負しております。最後に、作品展関係各位に深く感謝申し上げますと共に、来年の作品展のご指導、ご鞭撻、よろしくお願い申し上げます。

委員会



同好会





無心に描く子供達の姿、それを見守るパパママの表情。写し絵を色ペンで仕上げた“一生懸命”作が、私の手元に来るまでは緊張気味。昼食交代を除き、4時間で200枚余焼付けたとの事です。(失敗2枚)。残念そうに描き直していた子には少し心が痛みました。ご協力ありがとうございました。

河村 興彌 (31期)



自由投稿

財布のひとり言

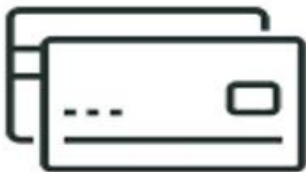
鳥山 努 (23期 園芸)

“吾輩は財布である” 昔は「がまぐち」「札入れ」「きんちゃく」と言われていたらしい。財布の「財」とは、貝(子安貝=貨幣)と才(良質な木)から構成されている。また財布にまつわる話として、“財布の口を締める・財布の底をはたく・財布の紐が堅い・財布の紐を緩める・財布を握る”等々があり、またお金の事を“お足”とは、よく言ったものだ。小生にとっては、いい時代だった。しかし世の中が変化すると共に、その中身も変わってきた。



当初は、「お札と小銭」だけであったが、その後、「名刺やテレホン・カード」が同居を決めこみ、今では病院の診察券やICカードが幅を利かせている、所謂「カード時代」である。従って小生の目的や体形もそれに合わせ変わらざるをえなくなった。

そこで主人(持ち主)に内緒で、中身の個人情報の一部紹介しよう。



診察券「内科・外科・歯科・眼科・総合病院 他」・ICカード「運転免許証・後期高齢者医療被保険者証・キャッシュカード・敬老パス(名古屋市民)・プリペイドカード(前払い)・クレジットカード(後払い)・ポイントカード・名古屋市立図書館共通貸出券・JAF 会員証・パスポート 他」。お金も無いのに太鼓腹である。

主人にとっては、「敬老パス」は毎日のようにお世話になっており本当に有難たがっている。この敬老パスにはmanacaが併用されており、このmanacaにチャージ(最高2万円)しておけば、JRや私鉄でも、この「敬老パス」をかざせば、改札機を自由に通過でき、また店舗(読取り機のある)

でも、少額な買い物なら、現金が無くても(一々小銭を数えなくても)支払いが可能で、便利だそう。

更に最近では「スマホ」と言ったライバルが幅をきかせ、キャッシュレスとやらが更に進むと、小生の中から現金と言う親友がいなくなってしまう、「吾輩」自体が不要になってしまわないか心配の種である。

政府が進める『マイナンバーカード』が進めば、将来そのカードに全てのデータが登録され「チップ」として体内に埋め込まれるかも？ そんな時代が来ないよう願うばかりだ。



総会アトラクションの変貌（アトラクションからイベントへ）

馬越 求（19期 福祉）

私達19期生45名が、鯨城学園を卒業して緑鯨城会に入会したのは、14年前、平成18年の春であった。この年の総会（4月5日）で、総会初のアトラクションが取り入れられた年でもある。

会長挨拶、来賓祝辞の後、大きな拍手に迎えられて鯨城学園OBによる艶やかな銭太鼓の演舞が披露され、目を奪われる。10程度の短い舞台ではあったが、あの時の感動は忘れられない。

その後の総会では、平成19年度から26年度までの8年間は、コーラスのアトラクションが続く（平成22年度“こじょう混声合唱団”出演。その他の7年間は全て“白川ハーモニック・クラブ出演）。この間、平成21年度のアトラクションから演者の出演時間帯が、議事が始まる前、来賓祝辞の後から、前半議事を終了し、前年度会長退任挨拶の後に変更されたが、1グループ10分程度という原則は変わらず、アトラクション本来の姿は維持された。

総会のアトラクションという呼称に、何となく違和感を覚えるようになったのは、平成27年度の総会からで、アトラクションと呼ばれる催しが、総会終了後、閉会の言葉の後に行なわ

れるようになってからである。この年には、1時間半にわたってプロの歌手によるシャンソンリサイタルが行なわれている。

その後、翌年28年度総会から31年度総会まで、総会終了後、閉会の言葉の後に行なわれる催しが定着。いずれの年も、4グループ（個人）で1時間を超える出演があり、出演者は、ほぼ全員が緑鯨城会の会員である。

総会終了後に行なわれる催しも、現在に至るまで、アトラクションと言い慣わされてきたけれども、それは、もはや主要な行事（総会）に添えて行なう出し物とか余興と言う言葉の範疇に収まるものではなく、一個の独立したイベント（行事・催し物）にまで進化したものとも見るべきであろう。

今までに出演して頂いた会員の方々の他にも、緑鯨城会には、まだまだ舞台に立っていただける多くの芸達者がおられるはずである。鯨城OB文化祭や緑区老人クラブ連合会の親睦芸能発表会をお手本に、一步でもこれらに近づくよう、他の区会に羨望の目で見られるような催しに育てて頂ければ幸いである。



二十九期 熊田八郎

むかごめし田舎を
想い味わえり

うろこ雲切り裂き
光る戦闘機

グループで山里へ
行き栗拾い袋一杯
得て笑みあふる

七き兄が学芸会で
剣舞せし姿想起す
吟詠会で

短歌・俳句



運営委員会だより (6月～10月)

総務長 渋谷 稔 (30期 地域B)

第3回運営委員会 (6月15日)

1. 協議事項 (承認済)

- ① 再入学者の期別変更…会長宛に期別変更届を提出し受理されれば新时期別への変更ができる。
- ② 在校生の同好会活動…同好会代表の承諾の上、参加を可とする。入会についても可とする。

第4回運営委員会 (7月20日)

1. 協議事項

- ① 広報委員長の辞任に伴い、奥野幸泰(31期生活A)広報委員を、委員長代行に選出(承認済)
- ② 30周年行事…記念植樹を予定したが大幅な予算超過の見込、種々の意見も有り。(再検討)

2. 報告事項

- ① 16区フェスティバル 11月20日に決定。案内状を全会員に送付。
- ② 30周年アトラクションに「歌の玉手箱」出演交渉中。

第5回運営委員会 (8月17日)

1. 協議事項 (承認済)

- ① 30周年行事…記念植樹を中止(理由:大幅な予算超過・害虫被害など上手く育つか不安)
代案=絞り大判ハンカチを記念品として配布。緑鯨城会絞り同好会に作成をお願いする。

第6回運営委員会 (9月21日)

1. 協議事項

- ① 30周年アトラクションに「歌の玉手箱」出演決定。費用1式¥35,000- (承認済)
- ② 行事…リトルワールドバス旅行は参加者が少なく中止とする。(承認済)
- ③ ボランティア…緑市民病院受付案内ボラは体力的に辛く・病院側の関心が薄い・やりがいを感じられないのでボラ委員長より中止の要望有り。(病院側と協議後結論を出すことになる)
- ④ 10月発行の「鯨城かわら版」は次回の「ふれあい」配布時に同封する。(承認済)

2. 報告事項

- ① 17期 山口 晃 (生活B) ご逝去。ご冥福をお祈りいたします。8月23日奥様より連絡。
- ② 新規入会…30期 古澤 ひさ子 国際A 9月5日付。

第7回運営委員会 (10月19日午前中)

10月12日開催予定が、台風の接近で急きょ19日午前中に変更された。

1. 協議事項

- ① 緑市民病院ボラ…病院側と話し合ったが担当者がボラに関心が薄く実態が把握されてなく実務担当者と話し合いもされていない。令和2年3月末で終了することになった。(承認済)

2. その他…作品展・区民祭り・16区フェスティバルの準備状況の確認、調整。

ウォーキング同好会活動報告とこれからの予定

—活動報告—

連絡先 瀧澤克彦 090-9220-6042

令和元年 9 月 30 日 新美南吉記念館&彼岸花 難易度1 歩行距離 6km 22期～32期 13名参加

名鉄金山 9:15 発⇒9:42 着半田口～日射しが暑い中、矢勝川の川岸を散策しました。コーヒータイムのテントでは涼しい風をうけながら、満開の彼岸花を楽しみました。新美南吉記念館前の東屋で昼食と今後の打合せの後半田赤レンガ建物まで移動して名物の地ビールや酢の入ったパフェを味わいました。

令和元年 10 月 30 日 (水)焼き物のまちと虎渓山永保寺 歩行距離 7km 22期～32期 14 名参加

JR 多治見駅 9:59 着、街の高台まで登りコーヒータイムの後、今回はいつもと違い、「とうしん美濃陶芸美術館」で美しい作品を鑑賞する。 ※爽やかな秋晴れで快適なウォーキングでした。



—令和2年 春の予定—

3/30 (月) 五条川花見ウォーキング 難易度1 お昼*(自由)弁当持参又は屋台の食べ物

集合場所・時間: 令和2年3月30日(月) 8時15分地下鉄鳴子北駅ホーム後方(ホーム柵15番)集合

アクセス: 鳴子北 8:21 発⇒8:36 御器所(乗換)(柏森行)8:43 発⇒上小田井(240円)=岩倉 9:18 着

行程: 岩倉駅～五条川流域を散策

毎回の注意事項 服装・持物 動きやすい服装・帽子・リュック・手袋・飲み物・雨具・ストック・(*弁当)
前日午後6時52分天気予報で9時～15時まで雨量が50%以上は中止です!!

「30周年記念特集:ふれあい77号」への投稿をお願い致します(広報委員会宛)

緑鯉城会30周年記念事業の一環として、令和2年3月の「ふれあい77号」を記念特集号として、発行したいと考えております。

30年を振り返り、思い出に残る行事や出来事等を、是非紹介していただけないでしょうか?

又、当会には様々な課題があります。

変えるべき点や新規の活動など、「明日への提言」を寄せていただき、新たな一歩になることを期待したいと思います。

原稿締切り:2020年1月25日(土) 30周年記念実行委員会

編集後記

30周年記念:「第24回趣味の作品展」をテーマに、会員皆様の力作を掲載致しました。

拙い編集で、? と感じられる点も、多々あるかと思いますが、ご容赦下さい。

今回は、初のカラー誌面に挑戦しました。 記憶に残る第76号になれば幸いです。

31期 奥野 幸泰 090-6093-0183 yukiAR1105@outlook.jp

30期 河内 猛男 090-2182-0005 tk9638@xj.commufa.jp

31期 河村 興彌 090-2267-4141 ttymserkwmr410@yahoo.co.jp

皆様からの投稿をお待ち
しております
締切り:2020.1.25(土)

広報委員会